

令和7年1月21日

姫路市地域公共交通会議離島航路分科会

地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価 (「姫路港～坊勢島航路 生活交通確保維持改善計画」に基づく事業)

1 事業評価について

(1) 事業評価の目的

地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価は、協議会が「生活交通確保維持改善計画（以下「計画」という。）」に位置付けられた補助対象事業について、事業の実施状況の確認、目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的、効率的に推進されることを目的とする。

(2) 事業評価の項目

評価項目	内 容
事業実施の適切性	「計画」に基づく事業が適切に実施されているか。
目標・効果の達成状況	「計画」に位置付けられた定量的な目標・効果が達成できているか。
今後の改善点	実施した事業について改善点があるかどうかを事業の目的の達成状況を考慮したうえで検証したか。

(3) 事業評価の実施方法等

姫路市地域公共交通会議離島航路分科会において自己評価を行った。

2 事業評価の対象となる補助事業について

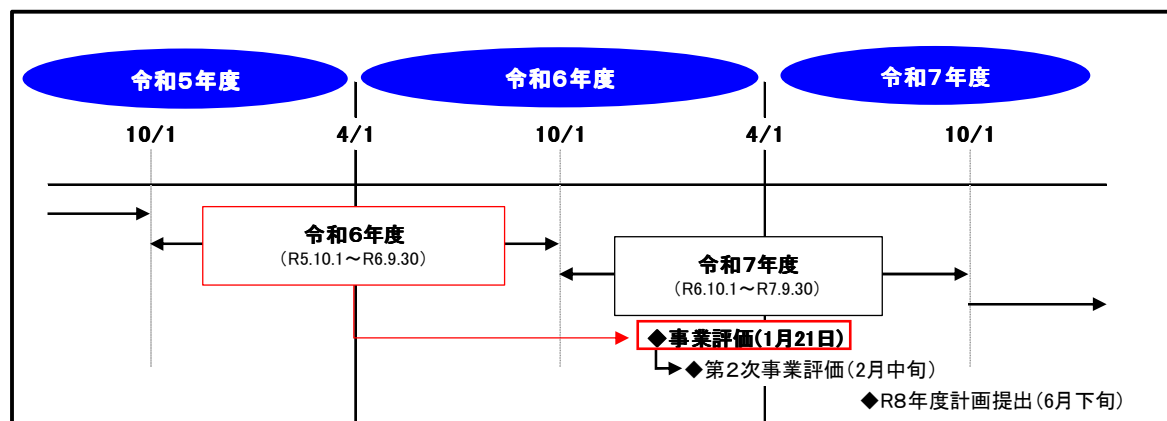
(1) 補助事業の概要等

- ① 事業の名称：地域公共交通確保維持改善事業（離島航路運営費等補助金）
- ② 計画の名称：生活交通確保維持改善計画
- ③ 協議会の名称：姫路市地域公共交通会議離島航路分科会
- ④ 航路事業者の名称：坊勢輝汽船株式会社
- ⑤ 航路の名称：坊勢～姫路（海上運送法第3条の規定に基づき許可を受けた航路名）

(2) 評価の対象期間等

- ① 補助対象期間：令和5年10月1日～令和6年9月30日
- ② 事業評価の対象期間：令和5年10月1日～令和6年9月30日

3 事業評価のスケジュールについて



4 自己評価の結果について

(1) 事業実施の適切性

計 画 内 容

1 事業目的・必要性

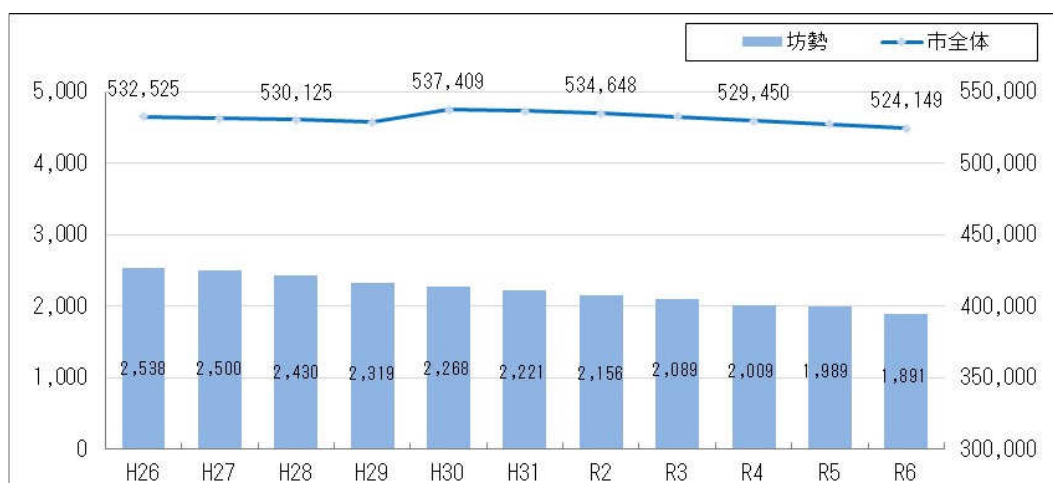
本航路は、離島住民にとって島外への通学や通勤、通院、買物等の生活需要の確保のために利用しており、坊勢島と姫路港を結ぶ唯一の公共交通手段であることから、なくてはならない生活の足となっている。

島民人口は年々減少しており、また燃料価格の高騰や新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、航路事業者独自の収入拡大と経営改善のみでは航路を確保・維持していくことは困難な状況にあり、引き続き離島航路の維持には国等の公的支援が必要な状況にある。

◇利用者数

- **令和6年度 213,860人（令和5年度比 -5,732人、令和元年度比 -17,505人）**
- 令和5年度 219,592人
- 令和4年度 219,027人
- 令和元年度 231,365人（コロナ前）

◇坊勢島の人口推移



2 計画に記載する運航回数

(単位：回)

運航系統	航路距離	船 名	運 航 期 間	運航回数
姫路 ～男鹿 ～奈座	22.1km	ぼうぜ2	令和5年10月～令和6年9月	3,926
		はるか	令和5年10月～令和6年9月	4,198
		クイーンぼうぜ	令和5年10月～令和6年9月	650
合 計				8,774

実施内容及び達成状況

◆ 令和 6 年度の運航回数は、8,596 回（欠航 178 回）【表 1 参照】

欠航した 178 回のうち 2 回はエンジントラブルによるものであったが、それ以外は台風等の悪天候によるものであった。前年度実績 104 回に対し 74 回の増加となったが、昨年に比べ台風等の悪天候が多く、安全管理規定等に基づく欠航であり、安全運航に努めた。

また、現行の利用状況を踏まえつつ、本土からの工事業者の利用需要を見込んだダイヤに変更するなど、利用者の利便性を高める運航に努めた。

（R6.8.1～6 時台、7 時台のダイヤを変更）

なお、感染症による欠航は無い。

【表 1】運航計画回数と運航実績

（単位：回）

運航系統	区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上期計
姫路 ～男鹿 ～奈座	計画回数	744	720	744	734	696	744	4,382
	運航実績	744	678	740	706	696	724	4,288
	差引	0	▲42	▲4	▲28	0	▲20	▲94

運航系統	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	下期計	計
姫路 ～男鹿 ～奈座	計画回数	720	744	720	744	744	720	4,392	8,774
	運航実績	714	720	720	744	692	718	4,308	8,596
	差引	▲6	▲24	0	0	▲52	▲2	▲84	▲178

自己評価の内容

（評価：○A・B・C）

- ◆ 令和 6 年度の運航は、エンジントラブルによる欠航が 2 回あったものの、それ以外は運航基準に基づく悪天候による欠航であり、安全管理規程等を遵守した安全運航に努めた結果、適切な運航ができた。
- ◆ 現行の利用状況を踏まえつつ、本土からの工事業者の利用需要を見込んだダイヤに変更するなど、利用者の利便性を高める運航に努めた。
- ◆ 感染症拡大防止に向けた取り組みを実施し、感染症による欠航は無く、安全安心な運航を確保した。

(2) 目標・効果の達成状況

計 画 内 容

1 目標・効果

本航路において、新型コロナウイルス感染症の影響や人口減少から旅客輸送量の維持は難しいと想定され、家島本島や姫路市中心部等との周遊企画、鮮度の高い魚介類を活用した独自企画や旅行代理店と連携した取り組みを検討し、余暇需要、交流人口の増加に努める。

また、引き続き旅客輸送量の減少など厳しい経営環境に加え、燃油価格の高騰や損耗部品価格の高騰が続くことが想定されるため、安定した航路運営に向けた取り組みとして、減便や中型船の適切な運航など効率的な運航による経費削減に加え、乗船券のキャッシュレス化の導入などの検討を行い、利便性の向上に取り組む。

なお、航路における収益を確保していくためには、利用者数を維持することが重要であることから、**当計画の目標を「旅客輸送量」とし、過去2か年の平均値 215,833 人を確保することを目指す。**

実施内容及び達成状況

1 旅客輸送量

令和6年度の旅客輸送量は、213,860 人となり、目標の 215,833 人に対し 1,973 人下回る結果となった。

また、前年度実績 219,592 人と比較すると、5,732 人の減少となった。【表2参照】

◆ 感染症対策として

昨年度に引き続き、船内の消毒作業を徹底し、マスク着用等を促す掲示を行うことにより、利用者が安心して利用できる環境を整備した。【別紙1参照】

◆ 利用促進の取り組みとして

旅客船の乗船券とバスの乗車券をセットにした企画切符の販売や、姫路市地域おこし協力隊による島の魅力の発信、姫路観光パンフレットへの広告掲載や家島諸島で開催される花火大会やペーロン大会への新聞広告の協賛を行い、交流人口の拡大に向けた取り組みを図った。また、SNS 等を活用した運航情報等の発信や、一部乗船券にキャッシュレス決済を導入するなど利用者サービスの向上にも取り組んだ。

さらにコミュニティバスとの連携により交通結節機能を強化し、島内交通との利便性向上も図った。【別紙2参照】

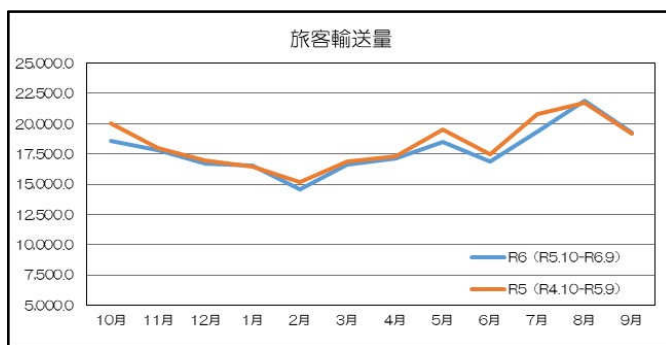
【表2】令和5年度～令和6年度旅客輸送量

(単位：人)

年度	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	人数	対5年度比	人数	対5年度比	人数	対5年度比	人数	対5年度比	人数	対5年度比	人数	対5年度比
R6	18,544.5	92.7%	17,846.0	99.0%	16,709.5	98.3%	16,505.0	100.4%	14,618.5	96.5%	16,648.0	98.6%
R5	20,004.0		18,025.0		16,993.0		16,435.0		15,143.0		16,890.5	

年度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		計	
	人数	対5年度比	人数	対5年度比	人数	対5年度比	人数	対5年度比	人数	対5年度比	人数	対5年度比	人数	対5年度比
R6	17,157.0	98.9%	18,516.0	94.7%	16,877.5	96.5%	19,346.5	93.2%	21,863.0	100.4%	19,228.5	100.2%	213,860.0	97.4%
R5	17,343.5		19,558.5		17,485.0		20,757.0		21,768.5		19,189.0		219,592.0	

※R6 目標値 215,833 人



2 収 支

令和6年度の収支は、▲66,828 千円となり、令和6年度における計画に対する実績差は、それぞれ収益 35,988 千円減、費用 1,090 千円減、収支差引損益は 34,898 千円の減となった。

【表3参照】

同じく前年度決算に対する実績差では、収益 42,282 千円増、費用 7,296 千円増、収支差引損益 34,986 千円の増となった。

前年度決算に対する損益の主な要因は以下のとおりである。

◆ 収益面

令和4年10月に運賃値上げを実施し、収益の拡大に努めたが、値上げ前の回数券のまとめ買いが発生したことにより、昨年度は回数券収入が大幅に減少したが、今年度は例年と比べ80%程度まで回復し、収益は前年度決算に比べると大幅に増加した。

また、令和5年度に続き姫路市による燃料費高騰支援金があり、収益全体としては前年度決算に比べ大幅に増加している。

◆ 費用面

中型船クイーンぼうぜの運航回数を減少したことによる燃料潤滑油費が削減したものの、一方で令和4年度の回数券まとめ買いによる大幅な収入増により法人税分が増加したため、総じて費用が増加した。燃料費が高騰する中、中型船の運航を荒天時や繁忙期に限定し、最小限の運航により経費削減に努めた。

なお、使用船舶3隻について長期利用を見据え、リースによる運航から自社保有船にすることを決定し、中長期的な経費削減を図った。

【表3】令和5年度及び令和6年度の損益

(単位：千円)

年度	区 分	収 益 (A)			費 用 (B)			差引損益 (A)-(B)
		運航収益	営業収益	計	運航費用	営業費用	計	
R6	決算額	202,144	30,281	232,425	190,573	108,680	299,253	▲66,828
R6	計画額	262,667	5,746	268,413	182,974	117,369	300,343	▲31,930
R5	決算額	162,476	27,667	190,143	194,192	97,765	291,957	▲101,814
R6-R5 (決算額)		39,668	2,614	42,282	▲3,619	10,915	7,296	34,986

(参考) ◇回数券収入

R6年度： 75,907 千円 (値上げ影響前 R3 年度比 82.2%)

R5年度： 38,305 千円

R4年度：280,870 千円

R3年度： 92,330 千円

◇燃料単価 (主燃料) 燃料購入金額 (実績) / 燃料購入量 (実績)

R6 年度：84,219,133 円 / 834,142 ℓ = 100.96 円 / ℓ (前年差+ 1.07 円)

R5 年度：86,328,510 円 / 864,215 ℓ = 99.89 円 / ℓ (前年差+ 2.14 円)

R4 年度：87,218,516 円 / 892,300 ℓ = 97.75 円 / ℓ (前年差+ 19.52 円)

◇中型船運航回数

R6 年度実績：564 回 (計画 650 回)

R5 年度実績：648 回、R4 年度実績：758 回

自己評価の内容

(評価 : A ・ B ・ C)

令和6年度の利用者数は、前年度に比べ減少している。これは、島民人口の減少による利用者の減少に加え、いえしま自然体験センター（西島）や男鹿島への利用者が減少のほか、猛烈な暑さによる海水浴離れや、南海トラフ地震臨時情報などの影響によるものが考えられる。

そのような中、旅客輸送量の維持確保のため、感染症拡大防止に向けた取り組みを継続し、利用者が安心して利用できる環境整備に取り組んだ。また、企画切符の販売のほか、関係機関と連携し SNS やパンフレットを作成するなど島の魅力を積極的に発信し、来訪者の増加に向けた取り組みをはじめ、インスタグラムやメールにより運航状況を配信するなど利便性向上に努め、海外からの移住者を獲得するなど島の振興にも寄与し、交流人口の増加に取り組んだ。

収支面では、経営の安定化を図るため、令和4年10月に運賃値上げを実施。回数券のまとめ買いにより、前年度までは収入の大幅な落ち込みがあったが、今年度は回数券収入に一定の回復が見られた。今後、回数券収入の回復により値上げによる収益拡大が見込まれる。

また、燃料費が高騰する中、中型船の運航を荒天時や繁忙期に限定し、最小限の運航とすることで経費削減ができた。さらに、使用船舶3隻について長期利用を見据え、リースによる運航から自社保有船にすることを決定し、中長期的な経費削減を図った。

経営安定化を図ることで、慢性的な船員不足の解消や陸員の確保にも対応でき、安定した航路運営に寄与した。

(3) 今後の改善点

改善点があるかどうかを事業の目的の達成状況を考慮したうえで検証したか。

令和7年度においても、感染症拡大防止に向けた取り組みを継続し、利用者が安心して利用できる環境整備に努める。

また、中型船の運航を荒天時や繁忙期に限定し、小型船を中心とした運航とするなど、運航需要に応じた適切な船舶の活用を図り、経費節減に努める。

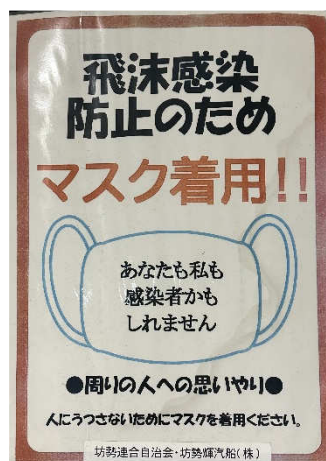
今後も島民人口の減少による影響が見込まれるが、家島本島や姫路市中心部との周遊企画、関係機関と連携し SNS やパンフレットを作成するなど、島の魅力を積極的に発信し来訪者の増加に向け取り組むほか、インスタグラムやメールにより運航状況を配信するなど、さらなる利便性向上に努めていく。

事業者による感染症拡大防止に向けた取り組み

【取組事例①】船内の消毒作業や、マスク着用等を促す掲示を実施し、引き続き感染症拡大防止に取り組んだ。



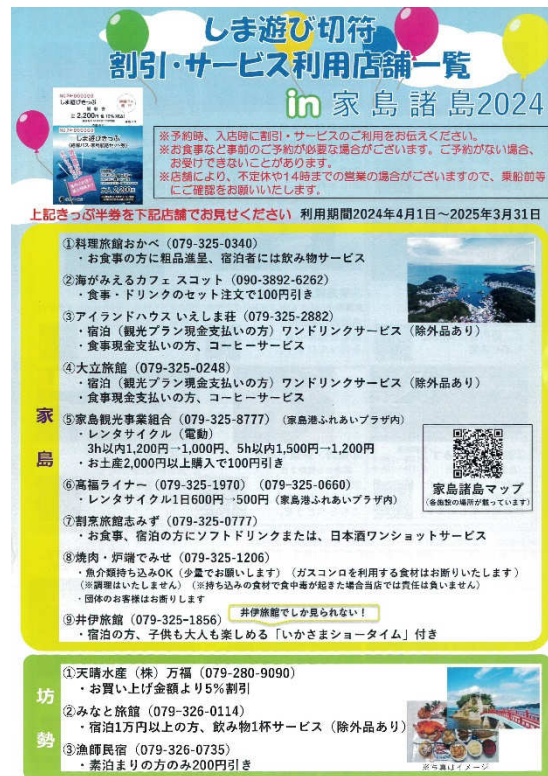
【写真①】 船内消毒作業



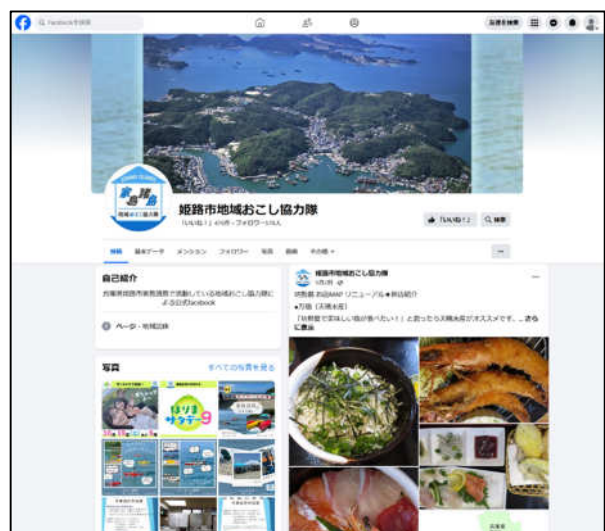
【写真②】 感染拡大防止の注意喚起

利用者拡大と利便性向上への取り組み

【取組事例①】交流人口の拡大を図るため、旅客船の乗船券とバスの乗車券をセットにした企画切符を販売し、さらに島内の飲食店等で利用できる割引等サービスを付与した取り組みを実施した。



【取組事例②】姫路市地域おこし協力隊と連携し SNS を利用した島の魅力の発信を行い、観光客や移住希望者の獲得に取り組んだ。



【取組事例③】姫路観光パンフレットへの広告掲載により観光客獲得に努めた。



【取組事例④】家島諸島で開催される花火大会、ペーロン大会への新聞広告への協賛を行い、交流人口の拡大に取り組んだ。

マリンブルーリゾート...家島。四十四島(あわせのしま)、今、感動のレジャーアイランド。

瀬戸内海国立公園 いえしま諸島

7/20(土) 21(日) 家島天神祭 花火大会 (20 日のみ)

8/3(日) ほうぜペーロン フェスタ2024

家島に家族... 家族の絆を深める... 家族の絆を深める... 家族の絆を深める...

家島市商工会
本 所: 姫路市夢前町西之庄134-15
TEL 079(336)1368
家島支所: 姫路市家島町1900
TEL 079(325)0629
青年支所: 姫路市家島町青島1004-1
TEL 079(322)0570
安富支所: 姫路市安富町安富1151
TEL 0790(56)3896

家島町宮区会
〒672-0102
姫路市家島町宮1055
TEL 079(325)0224
FAX 079(325)2751

家島町真浦区会
〒672-0101
姫路市家島町真浦71番地
TEL 079(325)0214
FAX 079(325)2147

家島町坊勢区会
〒672-0103
姫路市家島町坊勢186番地
TEL 079(326)0858
FAX 050(3565)3313

家島町花火大会実行委員会
☎079(325)0224

家島の朝取れの鮮魚直売
どれどれ 昼市
家島の朝取れの鮮魚直売... どれどれ 昼市... 家島の朝取れの鮮魚直売...

坊勢島 前獲れ!
60年以上にわたる魚の町を誇る「天瀬川」産の新鮮な魚を、新鮮なまま、新鮮なまま、新鮮なまま...

坊勢島汽船株式会社
079-324-1173

有馬福ライナー TEL 079-325-1970

高瀬いししま(株) TEL 079-325-1970

心癒す海と空

どれどれの瀬戸内の

※神戸新聞 7月5日夕刊8面

【取組事例⑤】インスタグラムやメールにより運航情報等を発信し、利用者サービスの向上に努めた。



欠航情報等をお客様のスマホ、パソコン、タブレット等へメールでお知らせします

弊社では欠航（休航）情報をスマートフォン、携帯電話、パソコン等へメールでお知らせするサービスを実施しております。本サービスを希望される方は下記の規約と免責をよくお読み直し、ご同意頂ける方は下記のアドレスへ「**登録メール**」を送信してください。

*メールのタイトルや本文になにも記入せずに送るメールの事です。

bouze29451@s.bmb.jp QRコードをご利用下さい

規 約

- ・サービス内容 欠航情報 本サービスは従来の連絡方法に加えてのサービスになります
- ・サービス利用料 無 料

サービス規約の変更

弊社はメール配信登録者に通知の上、本サービスの内容および本規約を変更することがあります。この場合、メール配信登録者にその変更メールを発信したときに要する効力が生じます。

注 意 事 項

※メール配信時におけるネットワークシステムの状況、あるいはその他の事情により、正常に送信出来ない場合（不達、遅延等）が
ある場合があります。あらかじめご了承ください。

※送信メールが正常に配信されず、送信に特定の設定を行っている場合は、受信出来ないことがありますので、ご注意ください。

【携帯メールのみ受信可能な場合など】

※登録をしたけれど、メールが届かないといった、お問い合わせを頂きたい場合があります。メール配信サービスは専用のレンタルサーバーを経由してお送りしています。そのためお客様の携帯、スマホ等が
他社からのメール（迷惑メール）を拒否する場合があります。また、受信できないという場合がある
ようですので、お客様の方でその対応をしていただけますようお願いいたします。

※メール受信に必要な通信費等については、受信者様のご負担となります。

免 責

弊社は本サービスの提供にあたり情報提供のための安全対策を講じます。コンピュータ通信の特性において限界があり、また現実性にも
もたない限りにおいて本サービスに限り、または本サービスの提供を信頼して行なった活動により発生した、いかなる損失又は損害に
ついて責任を負いませんので、あらかじめご了承の程お願い申し上げます。

坊勢輝汽船株
☎ 079-234-1138

【取組事例⑥】片道券のキャッシュレス決済を導入し、利用者サービスの向上に努めた。



キャッシュレス決済「PayPay」対応のお知らせ

ご利用の際は下記注意事項をご確認ください。

① PayPay決済は事務所でのみ受付いたします。

- ・姫路事務所は6：30～19：20
- ・坊勢事務所は7：30～19：10

※上記時間帯以外では対応出来かねます。

② 片道券のみの販売になります。

（往復券・回数券・定期券の購入は出来ません。）

切符のまとめ買いも出来ません。

（片道券の往復分まとめでの購入はご遠慮ください）

※使用期限は販売日のみとなっております。

期限を過ぎたチケットの払戻は出来ません。

以上、注意事項をよくご確認の上ご利用ください。

お問合せ先
坊勢輝汽船株式会社
TEL:079-234-1173

【取組事例⑦】コミュニティバスとの連携により島内交通利用者の利便性向上に努めた。

坊勢コミュニティバス 運行時刻表

**令和4年
10月1日より
ダイヤ改正!!**

1〜4便は2台で運行

お問い合わせ 姫路市 地域公共交通課 TEL 079-221-2493

運行 月〜土曜日(日祝運休)
※土曜日は午前1台で運行

料金 1回100円 小人は50円
※就学児は無料(ただし保護者同伴に限る)
※乗車券・入場券・入館料は乗車料に含まれていないので
ご注意ください。

運行ルート・停留所位置

凡 例
● 運行ルート(右まわり)
● 運行ルート(左まわり)
● 停留所

時刻表(月・火・水・木・金)

定期船出船時刻	8:05	8:30	8:55	9:31	9:32	10:04	10:40	12:07
1.サービスセンター前	8:20	—	8:55	—	9:31	—	10:04	11:10
2.スポーツセンター前	8:22	8:40	8:59	9:13	9:33	9:51	10:06	10:24
3.西ノ浦	8:25	8:38	8:58	9:11	9:36	9:49	10:09	10:22
4.赤松の家の前	8:26	8:36	8:59	9:09	9:37	9:47	10:10	10:20
5.カズラ	8:27	8:35	9:00	9:08	9:38	9:46	10:11	10:19
6.ちびっこ公園	8:28	8:34	9:01	9:07	9:39	9:45	10:12	10:18
7.ほうげ医院前	8:32	8:32	9:05	9:05	9:43	9:43	10:16	10:16
8.西ノ浦	8:34	8:28	9:07	9:01	9:45	9:39	10:18	10:12
9.鹿嶋 港	8:37	8:25	9:15	8:58	9:48	9:36	10:21	10:09
10.姫路観光ターミナル 西	8:40	8:22	9:18	8:50	9:51	9:23	10:24	10:01
11.姫路観光ターミナル 東	8:45	8:22	9:23	8:50	9:56	9:33	10:24	10:01
12.姫路美道神社前	8:46	8:21	9:24	8:49	9:57	9:22	10:25	10:00
13.赤松	8:48	8:19	9:26	8:47	9:59	9:20	10:27	9:58
14.坊勢崎南西	8:50	8:17	9:28	8:45	10:01	9:18	10:29	9:56
15.坊勢崎前	8:52	8:15	9:30	8:43	10:03	9:16	10:31	9:54
16.サービスセンター前	—	8:14	—	8:42	—	9:15	—	9:53

時刻表(土・日・祝)

定期船出船時刻	8:05	8:32	10:40	12:07
1.サービスセンター前	8:20	8:53	9:31	10:04
2.スポーツセンター前	8:22	8:55	9:33	10:06
3.西ノ浦	8:25	8:58	9:36	10:09
4.赤松の家の前	8:26	8:59	9:37	10:10
5.カズラ	8:27	9:00	9:38	10:11
6.ちびっこ公園	8:28	9:01	9:39	10:12
7.ほうげ医院前	8:32	9:05	9:43	10:16
8.西ノ浦	8:34	9:07	9:45	10:18
9.鹿嶋 港	8:37	9:15	9:48	10:21
10.姫路観光ターミナル 西	8:40	9:18	9:51	10:24
11.姫路観光ターミナル 東	8:45	9:23	9:56	10:24
12.姫路美道神社前	8:46	9:24	9:57	10:25
13.赤松	8:48	9:26	9:59	10:27
14.坊勢崎南西	8:50	9:28	10:01	10:29
15.坊勢崎前	8:52	9:30	10:03	10:31
定期船出船時刻	8:55	10:10	—	11:50

お待たせします！
積極的に活用を
お待ちしております！

令和4年10月1日改正

わたしたちは、
坊勢コミュニティバスを応援しています！

坊勢輝汽船株式会社
男島、坊勢島を結んで運航しております。
活気のある島、坊勢島へ観光・レジャー・
フィッシングに是非お越し下さい。
〒672-8063 姫路市飾磨区須加294
(ホーテンビル内)
TEL (079) 234-1138 (代)
FAX (079) 234-4488

坊勢渡船有限会社
坊勢港～家島(網手港) 定期船を運航
しております。
また、海上タクシー、チャーター船も
お気軽にご利用下さい。
(例) 姫路港～いそしま自然体験センター
各種冠婚葬祭なども予約たまわります。
〒672-0103 姫路市家島町坊勢488
TEL (079) 326-0559
FAX (079) 327-1211

**HIKARI KANKOU
輝観光**
姫路港～坊勢～西島
海上タクシー・無人島渡し
予約・貸切なら待ち時間なくて島々に
渡ることが出来ます。
お気軽にお問い合わせ下さい。
TEL (079) 325-0444 (家島本社)
(079) 326-0218 (坊勢事務所)
FAX (079) 326-0218

医療法人社団 ほうせ医院
理事長 下宮 一雄
TEL (079) 326-0253
FAX (079) 326-0595